

塩ビシート防水面塗り替え専用プライマー (1液湿気硬化溶剤型ウレタン樹脂)

タケシール塩ビシート用プライマー

塩ビシート防水材の上に塗装を行う場合、塩ビシート素材に含まれる可塑剤の影響により密着不良や変色、ベタ付きなど様々なトラブルが起こり塗り替えが困難とされてきました。

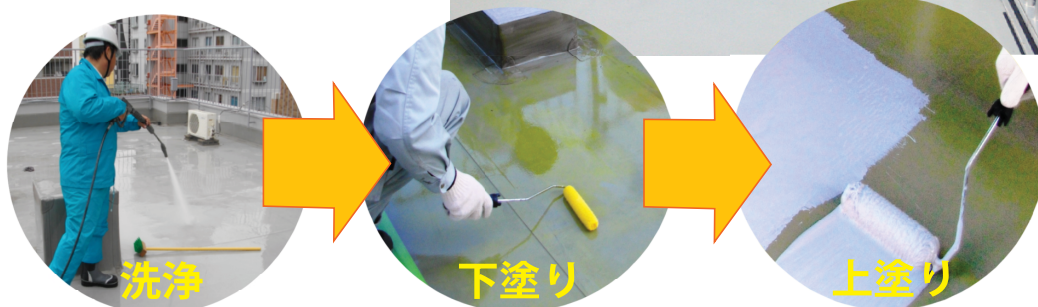
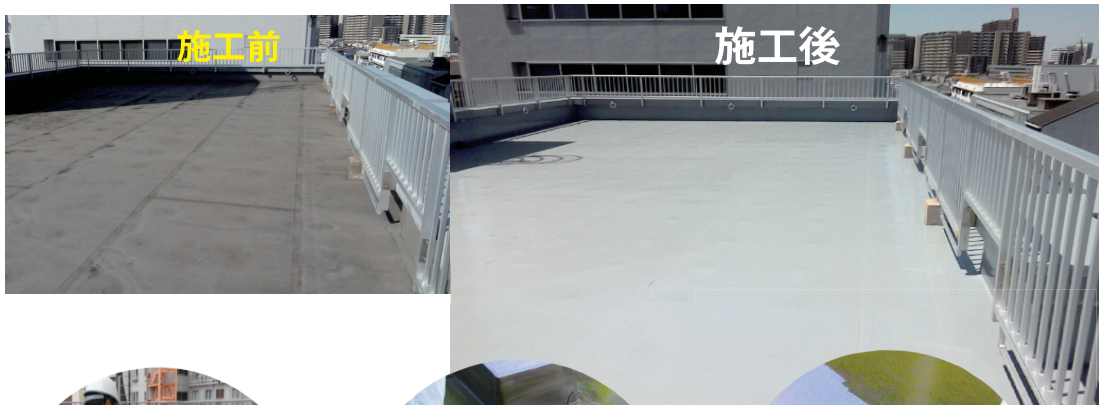
タケシール塩ビシート用プライマーは、長年にわたり培った弊社の経験と実績から開発された耐可塑剤性と塩ビシート防水材への密着性に優れた高性能ウレタン樹脂系プライマーです。

タケシール塩ビシート用プライマーを下塗りとし、弊社防水材・上塗り材を組み合わせることにより、強靱な防水保護層を形成し、長期にわたり防水機能を維持いたします。

優れた性能

- バリアー性** 塩ビシート層に含まれる可塑剤のブリードを抑制します。
- 作業性** 1液で乾燥も早く作業性に優れています。
- 密着性** 特殊溶剤の特性を生かして塩ビシート層表面を溶解し硬化する為、強固に密着します。
- 防水性** ウレタン防水材を塗り重ねることにより防水性能をアップさせることができます。
- 意匠性** 既存シート防水層の状況に応じた仕上げ材が提案できます。

用途	屋上・ベランダ等の塩ビシート防水層塗り替え用プライマー
荷姿	15kg缶・3.5kg缶
塗布量	0.1~0.12kg/m ²
乾燥時間	3~5時間以上、12時間以内(気温20℃)に次の工程へ



施工法

保護化粧工法

下地処理	下塗り	上塗り	
高圧洗浄 (デッキブラシ等) を使用し、十分 に洗浄します。	タケシール塩ビシート用プライマー 0.1~0.12 kg/m ²	タケシールSSトップ 0.15 kg/m ²	
		タケシール#3000トップコート 0.2 kg/m ²	
		タケトップ 0.5 kg/m ²	タケトップ 0.5 kg/m ²
		タケトップ遮熱 0.5 kg/m ²	タケトップ遮熱 0.5 kg/m ²

ウレタン防水工法

平場

下地処理	下塗り	重ね部処理	中塗り1回目	中塗り2回目	上塗り
高圧洗浄 (デッキブラシ等) を使用し、十分 に洗浄します。	タケシール塩ビシート用 プライマー 0.1~ 0.12 kg/m ²	タケシール1液 NEO Jクロス 0.5 kg/m ²	タケシール1液 NEO 1.4 kg/m ²	タケシール1液 NEO 1.4 kg/m ²	タケシールSSトップ 0.15 kg/m ²
					タケシール#3000 トップコート 0.2 kg/m ²

立上り

下地処理	下塗り	重ね部処理	中塗り1回目	中塗り2回目	上塗り
高圧洗浄 (デッキブラシ等) を使用し、十分 に洗浄します。	タケシール塩ビシート用 プライマー 0.1~ 0.12 kg/m ²	タケシール1液 NEO たれ止め Jクロス 0.5 kg/m ²	タケシール1液 NEO たれ止め 1.4 kg/m ²	タケシール1液 NEO たれ止め 1.4 kg/m ²	タケシールSSトップ 0.15 kg/m ²
					タケシール#3000 トップコート 0.2 kg/m ²

【施工上の注意】

- ・洗浄はデッキブラシ等を使用し、埃・土・苔・ゴミ等は除去してください。また、汚れが酷く黒ズミ・水あか等が附着している場合は、ペーパー等を使用して除去してください。除去不十分な場合、密着が悪くなります。
- ・洗浄後の乾燥養生は十分に行ってください。
- ・シート表面が硬くなっていたり、表面に光沢があり凹凸が無いシートの場合は、シート表面をペーパー等を使用して目粗しを行ってください。
- ・既存シートに膨れ、捲れ、破損等がある場合は、事前に適切な方法にて補修を行ってください。
- ・下塗り材のタケシール塩ビシート用プライマーは、湿気硬化型となります。**12時間以内に塗り重ねて**ください。また、**乾燥養生時間内に雨に打たれたり、12時間以上間隔が空いた場合は**、ペーパー等で目粗し後、再度プライマーを塗布してください。
- ・下塗り材は、液溜りができないように規定量を塗り、塗り残しが無いよう塗布してください。
- ・保護化粧工法では、立上り部も平場と同じ工法となります。
- ・ウレタン防水工法で立上り部に使用するたれ止めの添加量は、タケシール1液NEO(18kg缶)に対して、たれ止め0.2kgを2袋を目安とし、現場の状況に応じて調整してください。
- ・また、混合は一度に入れず数回に分けて混合し、攪拌は塊が無いよう十分に行ってください。
- ・気温5度以下、湿度80%以上になる場合や、塗布後硬化時間内に降雨・降雪・強風や結露が予測される場合は、施工を避けてください。
- ・塩ビシート防水層以外への施工は避けてください。
- ・現状、旧塗膜がある場合は、当社へお問い合わせください。
- ・著しく既存シート防水層に痛みがあり、防水性能を維持していないと判断される場合は、当社へお問い合わせください。
- ・施工後、既存防水層が起因するトラブルにつきましては、ご了解の上での施工をお願いします。

【取扱い上の注意】

- ・開封時にフタの上にウエス等を被せるなどして、内容物とフタが飛散しないように十分に注意してください。
- ・開封後は速やかに使い切りください。
- ・施工中、施工後共に換気は十分に行ってください。必要に応じて局所排気装置等を使用してください。
- ・火気のあるところでは使用しないでください。万が一火災が発生した場合は、炭酸ガス、泡消火器又は、粉末消火器を使用してください。水は使わないでください。
- ・取り扱い後は、手洗い・うがいを充分に行ってください。
- ・施工中は、必要に応じた保護具(有機ガス用防毒マスク・保護手袋・保護眼鏡・長袖、長ズボンなど)を着用してください。
- ・誤って眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けて行い、直ちに医師の診断/手当を受けてください。
- ・誤って飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断/手当を受けてください。無理に吐かせないでください。
- ・皮膚に付着した場合は、直ちに汚染された衣服を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーと石鹸で洗うこと。汚染された衣服を再使用するには洗濯してください。
- ・誤って吸入した場合は、空気の清浄な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させ、気分が悪い場合は、医師の診断/手当てを受けてください。
- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合は、医師の診断/手当てを受けてください。
- ・保管は容器を密栓し、換気良く直射日光が当たらない冷暗所に施錠して保管してください。
- ・内容物/容器/用具等を廃棄する場合は、関係省令に基づき、自社で適正に処理するか又は、廃棄物処理業者に委託して処理してください。

※製品改良のため、仕様など予告なしに変更する場合があります。ご了承ください。

国連番号	指針番号
1866	128

品質保持期限：出荷後6か月

製造元

竹林化学工業株式会社

お問合せ

20190221-U

〒577-0836 東大阪市渋川町3丁目1-43

tel 06-6721-6165・fax 06-6720-7308

ホームページ: <http://takebayashi-ci.com/>

Eメール: info@takebayashi-ci.com